

SAR Workshop 2008 プログラム



- 開催日 : 2008年9月25日 一般講演 15:10-18:50
9月26日 特別講演 Tony Freeman (NASA/JPL) (時間未定)
- 会場 : 東北大学東京分室 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10階
(新幹線東京駅日本橋口ー徒歩1分 東京駅八重洲北口ー徒歩2分)
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>
- 主催 : IEEE-GRSS Japan Chapter
協賛(依頼中): 東北大学 東北アジア研究センター(CNEAS)
電子情報通信学会 宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)
宇宙航空研究開発機構(JAXA)、情報通信研究機構 (NiCT)
- 参加費 : 無料
- 参加申込: 入場には事前登録が必要です。登録がないとサピアタワーに入館できません。以下の情報を9月24日までに mwatana@cneas.tohoku.ac.jp までお送りください。
参加者氏名、所属、メールアドレス、電話・FAX

ALOS/PALSAR による計測が順調に経緯しています。PALSAR、Pi-SAR、TerraSAR など SAR など技術に関するワークショップを開催いたします。多数のご参加をお待ちいたします。
また9月26日には Tony Freeman (NASA/JPL) の特別講演を同一会場で予定しています。開催時間は Web などでお知らせいたします。

一般講演

- 15:10-15:30 ALOS/PALSAR で捉えた吾妻山の地殻変動
安藤忍(気象研究所)、北川貞之(気象庁)、高木朗充(気象研究所)、福井敬一(気象研究所)
- 15:30-15:50 Quad. Pol. Data の4成分散乱電力分解
山口芳雄(新潟大学)
- 15:50-16:10 Pol-InSAR データを用いた散乱成分分解に関して
山田寛喜(新潟大学工学部 情報工学科)
- 16:10-16:30 PALSAR/Polarimetry 観測と、地表面粗さ推定モデルによる評価
渡邊学、佐藤源之(東北大学)
- 16:30-16:50 ポーラリメトリック GB-SAR を用いた水田の観測
林直樹(東北大学 大学院環境科学研究科)、佐藤源之(東北大学東北アジア研究センター)
- 16:50-17:10 SAR データによる農地観測の事例紹介
石塚直樹(独立行政法人 農業環境技術研究所 生態系計測研究領域)
- 17:10-17:30 高性能航空機搭載合成開口レーダ (Pi-SAR-2)の開発
松岡建志、梅原俊彦、灘井章嗣、小林達治、浦塚清峰(情報通信研究機構(NICT) 電磁波計測研究センター 電波計測グループ)
- 17:30-17:50 Ku 帯航空機 SAR による高分解能 CCD 実験の初期結果
岡田祐*1、長谷川秀樹*1、大石昇*2、土田正芳*2、中野陽介*1、岩本雅史*1、原芳久*1(*1 三菱電機 鎌倉製作所、*2 三菱電機 情報総合研究所)

9月26日(時間未定) 特別講演

Scattering mechanisms in polarimetric SAR Tony Freeman (NASA/JPL)